

岐阜市民病院

病院の概要

開設時期：昭和16年12月15日
開設者：岐阜市長 柴橋 正直
院長名：山田 誠
病床数：565床
標榜科：総合診療・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、脳神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科、歯科口腔外科

医師数：189名
指導医師数：76名（臨床研修指導医講習会修了者）
外来患者数：1,236名／日
入院患者数：443名／日
所在地：岐阜市鹿島町7-1
URL：http://gmhosp.jp/



病院の特徴

当院は、「心にひびく医療の実践」を基本理念としている。多職種間のコミュニケーションが良好で「チーム医療」のやりやすさにもつながっている。多くの分野において本邦でもトップレベルの高度先進医療を体感でき、臨床、教育、研究、学会発表などを積極的に行っている。また、地域医療支援病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院などの指定を受けており、市民に愛される身近な病院でありながらも、中核病院として、岐阜地域の医療に貢献している。

院長メッセージ



山田 誠
(外科)

当院は DPC 特定病院群(大学病院に準ずる病院)の指定を受け、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、がんゲノム医療連携病院等にも指定され、地域で高度急性期医療を担う中核病院としての役割を担っています。機能に見合う十分な実績もあり、充実した臨床研修が可能な環境が整っています。

そして、手術支援ロボット(ダビンチ Xi)等の高度医療機器も完備しており、各分野の専門医も多数在籍しておりますので、先端医療の研修に関しても充分期待に答えられると考えています。

また、コロナ禍で中止となっていた職員の親睦を深めるためのイベントも、昨年度から徐々に再開しており研修医にも好評です。当院研修医の声もホームページに掲載していますので、是非参考にいただき、志高い多くの皆さんが当院に初期臨床研修に来ていただけることを心よりお待ちしております。

指導医メッセージ

平成16年度から開始された研修医制度も21年目を迎え、当院では209名が初期臨床研修を修了して巣立ち、各領域で活躍しております。そして、令和6年4月には16名の新研修医を迎えてスタートしました。当院では、岐阜市民病院臨床研修の理念と基本方針を掲げ、社会人として医師として社会に貢献できる人材の育成に心掛けてまいりました。そのために、卒後臨床研修評価機構の認定を受けて外部の評価を取り入れながら、また研修医や研修修了後の若手医師の意見も聞きながら、より充実した研修環境の整備と研修プログラムの改善に研修管理委員会を中心として常に取り組んでいます。

研修医メッセージ

当院の研修の特徴は、救急プログラムにおいて、1年目、2年目が同時に回ることで屋根瓦式に知識を深めることができます。また、選択制ですが、1年目から脳外、整形、泌尿器、耳鼻、小児、産婦人科を回るため、救急で診るような緊急疾患について早い段階から対応できる知識・技能を身につけることができます。さらに夜間休日の救急外来において、指導医・上級医の指導の下全ての患者を自分で診察し、検査・治療をオーダーします。全例上級医がコンサルトしますので、困ったときや分からない時のフォロー体制が整う中でスキルアップが図れます。当院の先生方、看護師さんは非常に優しく、スタッフとのイベントも色々あります。夏休みを取得することもできますので、仕事もプライベートも充実した研修生活を送りたい方はぜひ来てください！

研修スケジュール

プログラム IX	1年次	26週					6週	4週	4週	4週	6週
		内科系*1					外科系*2	小児	救急	麻酔	選択*3
IX	2年次	4週	4週	4週	4週	2週*4	30週				
		産婦人	精神	救急	地域医療	一般外来	自由選択				

備考 ※1 消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、総合内科を各4週、脳神経内科と腎臓内科を各3週の内計26週
※2 外科4週、呼吸器外科・心臓血管外科か乳腺外科のいずれかを2週選択の内計6週
※3 脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、産婦人科から2週単位で計6週選択
※4 4週間の午前のみ市内のクリニックで研修を行う(実質2週)
*救急研修を1・2年次に屋根瓦方式で段階的に研修、一般的疾患から専門性の高い疾患まで幅広い対応力を修得できる

研修協力病院・施設

協力型臨床研修病院	岐阜大学医学部附属病院	岐阜県立下呂温泉病院
臨床研修協力施設	岐阜県立美濃病院	下呂市立金山病院
国保坂下診療所	岐阜市保健所	岐阜県赤十字血液センター
国保上矢作病院	下呂市立小坂診療所	高山市国保久々野診療所
美濃市立美濃病院	高山市国保荘川診療所	高山市国保清見診療所
東白川村国保診療所	郡上市市民病院	鷺見病院
高山市国保朝日診療所	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	県北西部地域医療センター国保高鷲診療所
揖斐郡北西部地域医療センター	高山市国保高根診療所	飛騨市市民病院
県北西部地域医療センター国保白川診療所	医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック	あんどう内科クリニック
シティ・タワー診療所	矢嶋小児科小児循環器クリニック	医療法人かがやき 総合在宅医療クリニックみの
操外科病院		

後期研修・専門研修(予定)

岐阜市民病院では、内科の基幹病院として、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、総合診療・膠原病内科、腎臓内科、脳神経内科の各科専門医のもとで、バランスのとれた十分な研修を行うことができます。また県内外の多くの病院と連携をとっており、様々な経験を積むことができます。内科以外の診療科においても岐阜大学の各専攻医プログラムの主な連携施設となっており、各診療科の経験豊富な専門医のもと十分な研修を行うことができます。
また当院では、各診療科、各部門との垣根が低く、各診療科との連携も良いため、様々な臨床的な問題や疑問も解決しやすいことが特徴的です。このような恵まれた医療環境、教育環境で皆さんと一緒に研修ができることをお待ちしております。

研修プログラムの目標

医師としての基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得することを目標としています。臨床における幅広い知識・技術を習得し、社会人として地域医療に貢献できるような、あるいは最先端の知識や技量を身につけ医療の進歩に貢献できるような医師を育てる研修を目指しています。

研修プログラムの特徴

市中中核病院ならではの Common Disease から専門疾患まで広く実践的な研修が可能です。救急研修では、1年目と2年目の屋根瓦方式で行い、段階的に救急の知識・技術を研修する体制としています。さらに1年目の時点で、救急で遭遇することが多い専門科目(脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、産婦人科)を選択必修、小児科を必修としているため、幅広く救急に対応するための知識・技術が習得できるようにしています。

募集要項

応募資格：令和8年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：16名(予定)
身分：会計年度任用職員(常勤)
給与：月額約7,000,000円(令和5年度実績)(諸手当含む。当直回数等で変動あり)

住居等：あり(約19,000円~約25,000円。令和5年度実績)
保険等：共済保険・厚生年金加入、公務災害補償有、医師賠償責任保険は病院で加入

連絡先

電話番号：058-251-1101
fax：058-252-1335
E-mail：c.kensyu01@gmhosp.gifu.gifu.jp

交通案内



JR岐阜駅、名鉄岐阜駅からバスで約15分